

著作権について

平成30年11月
冲高文連文芸図書専門部

昨今、インターネットからの無料の画像転用、コピーペースト等が問題視されています。本コンクールでは、独自性を十分に発揮しながらも、他者の創作活動や権利を侵害しないために、チェックリストを作成しました。安易な模倣や複製にならないよう、また刊行によって傷つく人がいないようにご配慮をお願いします。

尚、引用ではなく、他者の創作物を取り込む場合は書面にて著作者に許可を得た上で、本文に明示する必要があります。写真やイラストも、本人に許可を得なければ掲載できませんのでご注意ください。

以下は、文芸誌部門の審査員をなさっている新城和博先生からのメッセージです。各学校でご一読下さり、チェックリストにご協力下さいますようお願いいたします。

みなさんが制作している高校の文芸誌は「出版物」です。出版されたもの。そして「著作物」でもあります。

●出版とは

publishing 「文書・図面・写真などの著作物を、機械的な方法によって複製し(コピー)出版物の形態にまとめ、多数の読者に配布する一連の行為の総称」

著作物(オリジナル)→複製(複数、大量に)→発行(有償、無償)

※「発行」 出版物を製造して公に配布すること

文芸誌は、それぞれの作品を集めてまとめたものですが、それぞれの作品も「著作物」です。その著作物に持っている・付随している様々な権利のことを「著作権」といいます。

著作権は、著作物の複製(コピー)を独占できる複製権などのような、いろいろな権利の集まりです。

では「著作物」とはなんでしょう。ある人が独自性を発揮して作り出した、表現したものです。つまり、その人のオリジナルなものです。

そのオリジナルなものを勝手に利用されないために「著作権」というものがあります。作者の権利です。

高校文芸では、みなさんが書いた小説や詩、短歌、俳句などが「著作物」であり、あなたがたはみんな「著作者」です。それぞれの作者は作り出したその作品に対しての権利「著作権」があります。

著作権は、作品が作り出されたときに、すでに発生していると考えてください。

どこかに登録するとかは一義的には関係ありません。商標登録ではありません。

著作権は、基本的にすべてのオリジナルな表現についてある、と考えていてください。

他人の著作物を利用したいときには、著作権を持っている人から許諾をもらう必要がある。それは原則として文芸誌づくりのなかにおいても一緒です。

勝手に他人の著作物を利用することは「著作権」を侵害していることになります。

場合によっては損害賠償を請求されたり、罰せられたりします。もちろん利用に関しては例外はいろいろあります。利用のしかた、範囲、量とか。

みなさんがレイアウトするときに、イラストや写真などをつける場合がありますが、そのときに作者に断りもなく使うと、これは著作権の侵害にあたります。

もちろんネット上では「著作権フリー」という表示の元に、いろいろな場合に使用していい素材もたくさんあります。しかし、そうではない場合は基本的にはかならず許可を得なければなりません。安易にネットや他の著作物から、写真、イラストを使うのはやめましょう。

★なによりも、高校の文芸誌という自分たちの「オリジナル」をつくる、著作物を編集していくわけですから、小説や詩などの作品はもちろん、それにあわせるイラストや写真なども、そのオリジナルとなる大事な要素なのです。

文芸誌という著作物を作るにあたって、著作権という考え方を理解することは大切ですが、なにより自分たちのオリジナルをつくるということに本質があるわけです。

よって、文芸誌をつくるにあたって自分たち(同じ高校内で依頼原稿も含む)のオリジナルの表現以外の作品を、安易に(許可を取ったにせよ)使用するというのは、慎重に考えたほうがいいと思います。

●チェックリスト

※応募前に顧問が生徒に確認し、以下の口内に✓をつけ、確認した上で応募票に添付してください。

応募票提出後に違反行為や不具合が判明した場合、当該団体の審査結果を取り消し相応のペナルティを付与するものとします。

1. 目次・奥付等、出版物として必要な要素を全て備えていること。
2. 文章、画像（イラスト・写真等）、レイアウト、その他この文芸誌中の創作物は基本的に文芸部員のオリジナル創作とすること。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→ ☐
3. 文芸部員以外の校内、校外関係者の文章を含む場合も、許可を得て、作者名（ペンネーム）を奥付等に明記すること。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→ ☐
4. エッセイ、文芸批評などで、他の作品から引用する場合は、引用箇所が明確にわかるようにし、作品、著者名などを明記すること。 →→→→→→→→→→→→→→→→→→→ ☐
例〈●●●引用箇所〉（『作品名』著者名）
5. 例外的に文芸部員以外によるイラスト、写真などの著作物を使用する場合、著作権者（作者）の許可を得て、作者名、出典などを明記すること。 →→→→→→→→→→→→→ ☐